

6/17

昨日のASPAC粉碎の御堂筋大衆的実力斗争を 6/15・10/21へ！  
 明日からの静岡-川奈の現地実力粉碎斗争（4日間に渡る連続斗争）で反帝統一戦線の力の強化を  
**立法粉碎全学バリエード封鎖へ爆進せよ**

ASPAC粉碎御堂筋↓現地実力斗争へ前進せよ！  
 全共闘に結集する革命战士諸君！ 戦士の学友諸君！  
 我々、社会主義学生同盟は、ASPAC粉碎斗争を、物理的に粉碎する  
 現地斗争に先駆け、唯一関西の地に於て、政治同盟として斗り抜いた事を  
 宣言する。大阪府学連、京都府学連、兵庫県反戦連、各大学共闘、関西  
 地区反戦連絡会、高校生約1500名が結集し、始終、戦士の示威デモンス  
 ーションを勝ちとった。

我同盟は、すぐる二年前、社会党、共産党、中核派、革新、民学同（現子口学同）  
 他一切のひびく、中偏の中で、唯一反帝全学連を索引し、6月神田、6分御堂筋  
 7月掛田のパスバック斗争を斗り抜いた。じまじながら、本年のASPACが  
 この日本で開催され、そこに示される日本帝国主義マルジョアジーの意図を鮮  
 明にする局面の中で、即時的に夜発をおぼゆる諸党派が本年のパスバックを  
 たなねはならぬと思つのは、じつに当然であるが、理論的にパスバックの  
 何を問題であり、その中で日本帝国主義マルジョアジーが何をなさんとしてい  
 るのかを、体系的に把握しきれない諸党派が、現地斗争は斗えるけれども、各  
 地に於る大衆的実力斗争は斗いえないと云つのは、じつに当然である。  
 我々は、ASPAC、70年安保に於ける斗争目標を、日本帝国主義マルジ  
 ョアジーの東南アジア侵略、反革命と、自衛隊の帝国主義軍隊化によるそ  
 の軍事制圧、それを保証する国内抑圧体制の確立」を粉碎する斗りと、  
 設定する。革命战士諸君！ 全吾等マルジョアジー独裁権力の樹立にむけて、  
 なる斗いを深化せよ。

「本日の子学総決起集会で獲得するべき事を何々？」

10・8鈴ヶ森ランマに開始された、下ル棒斗争↓日大、東大を頂点とする  
 全日学闘斗争の激発が、今日本帝国主義マルジョアジーをこけて、大学治安  
 立法、破防法、その他彼らの持てるあらゆる武器を行使せしめて、  
 機動隊で云つ軍隊によつても、現在の局面を抑え切れぬが故に、彼ら  
 をこけて大学立法、破防法、自衛隊の治安出動へと駆りたてられているのである。  
 帝国主義の諸矛盾が、以後の日本階級斗争の現局面を生み出し、その  
 日本階級斗争の前進がマルジョアジーをして、今までの統治形態ではどうい  
 うともなり、既成の国家の崩壊と云うレーニンの指摘した革命的危機の時  
 代に突入りようとしているのである。正にこゝに於ては、全吾等史的に「マ  
 コレタリ」独裁↓女産主義、社会の実現かつ、それとも「ファシズム独裁」  
 各帝国主義による全吾等制覇か？と云う一時代が開始されんとしてい  
 るのである。

全ての学友諸君！ 我々は、カニ次帝国主義戦争以後、日本の反戦、平和運  
 の前進基地として存在して来た大学が、今「社会的使命」としての存在基盤  
 が向われていて云う現局面で、声高らかに共産主義社会実現の岩として存  
 在しているのだと云う事を、革命の岩になりうるのだと云う事を宣言しよう  
 ではないか。

「全学封鎖に向けてバリエードを構築せよ！」

右の様に大学をファシズムなように握るのみ、マルコレタリアートなように  
 握るのみか、現下の学闘斗争である以上、我々は、内にある反革命・ファシ  
 ム↓日共、民青、真正右翼、体制秩序派を暴力的理論的に粉碎するのは、  
 勿論の事、現国家権力に向けても、その斗争の性格を全学バリエード封鎖  
 によつて、貫徹しなければならぬ。

全ての学友諸君！ 大学立法粉碎斗争に、女産主義的意識に傾かれた、  
 主体として、存在として、決起せよ！ その事の曖昧は、もはや、我々の敵  
 になり得ない。その事は、今の大学協議会、大学当局に明白な事実として  
 存在しているではないか！ 現体制下に於る大学の最高権力機関「協議会」を  
 我々の前に引き出し、その態度を明確にさせよ！

社学同